

【一】天地季候

《一》天象

・アサヤケ

◇アメカゼ

・イキ

・オーフリ又オーアメ

◇オガメル

・オホツサマ

◇オテントサマ

・ガシンドシ

・カンナリ

・スカスカ

朝空が赤く映えること。雨の前

兆という。

暴風雨。

雪。(—こんこ)

豪雨。

(月や星が)見える。(三日月

様、—かな?どれどこに?)

星。

太陽。正義、神等の意。

飢饉年。

雷。

雪の降りしきる形容。(—と降

つとるがこの分じゃ大分積もる

ぞ)

・チカボシ

・テンズク

・ヒガハズル

・ヒーサマ

・ママコイ又バカバカ

シイ

・ヨーサ(リ)

・ヨツイ

月に接近している星。(—があ

ると火事がある)

天。「兎」

陽がかげる。日が西に没する。

太陽。「兎」(—はずんなれる。

—こつちおいで、向かいの山に

猿が三匹おってとって食ってま

—う。日向ぼつこの唄)

眩しい。

夜。

夜露。

《二》海陸

・クエ

◇トメギ

◇ピツソ

杭。

砂防のために打ってある杭。

杭の長いもの。

《三》

河水

・アオドロブチ
・アワラ

◇オーセ

◇オーセ・コセ

◇オチコミ

・ジヨロジヨロ

・ダシ

・タル

◇チンシヨ

・ツク

・テツボミズ

・ドンド

青々とした深い淵。

浸水し易い低地。

川の早瀬。

瀬の長い所、短い所。

淵が早瀬に変わる所。

淵尻。淵が次第に早瀬になる所

土砂岩石等が雨等のため谷へ押し出していること。「参ノマ、

アワ」

アワ」

溪谷の段階をなしていて、雨の

時には滝を生ずる所。

堤防や河床保護のため川に櫓を

組み石を詰めてある所。

浸水する。

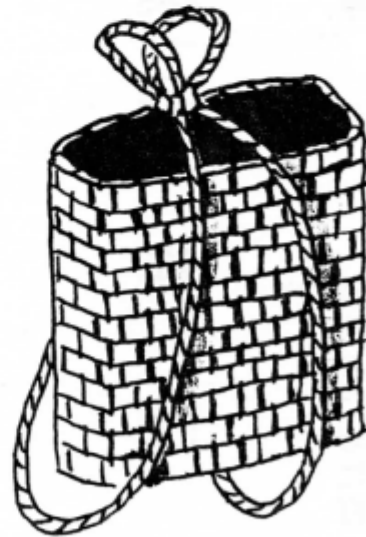
突然急激に襲来する洪水。鉄砲

のように速い意。(ほりやーテ

ツボミザー来たわ)

溝や川の堰の下にてドンドン水の

落ちる所。



S.O

ねこだ

藁、菅または櫓や桜の皮などで作った方形の背負袋であります。物を入れたり荷を負うときの背あてにしたり大変便利なもので、各家には必ず一つは備え付けてありました。師走の街に開かれたみかんの市には、近郷の人達はみな「ねこだ」を背負って買物に出られた姿はなつかしく、今でも目に写るようです。